



静岡市の三保松原から望む富士山（文化庁提供）



発行所

山形新聞社

山形市旅籠町2-5-12  
電話 代表023(622)5271

Copyright (c) 2013  
Yamagata Shimbun

2013年

6月22日

〈土曜日〉

速電  
報版子

購読申し込み  
(9-17時)

0120-81-8040

やまがた  
ニュースオンライン  
yamagata-np.jp

携帯・スマホ  
yamagata-np.jp  
/mobile/



詳しくは山形新聞を  
ご覧ください。

# 「富士山」世界遺産に

## 国内「三保松原」含め登録 17件目

カンボジアの首都プノンペンで開催中の国連教育科学文化機関（ユネスコ）第37回世界遺産委員会は22日、日本政府が推薦した「富士山」（山梨県、静岡県）を世界文化遺産に登録することを決めた。山岳信仰の対象であり、浮世絵など多くの芸術作品に描かれた日本の象徴として、文化的な価値を高く評価した。国内の世界遺産は2011年登録の平泉（文化遺産・岩手県）と小笠原諸島（自然遺産・東京都）以来で、17件目となる。

### 文化的価値に評価

政府が富士山の一部として推薦し、ユネスコ諮問機関の国際記念物遺跡会議（イコモス）が山との距離を問題視して除外を求めていた景勝地「三保松原」（静岡市）も含めての登録となった。

富士山は、富士山信仰で聖域とされる標高1500メートル以上の山域のほか、ふもとに浅間神社や富士五湖、白糸ノ滝などの名勝、文化財で構成。かつて地元は世界自然遺産を目指したが、ごみ問題や、火山として世界的な独自性がなないなどの理由で03年に候補選考から脱落。政府は、信仰登山や巡礼が盛んで、絵画や文学作品にも繰り返し登場した文化的価値に注目し、12年に文化遺産として推薦した。